

2018年10月2日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&Dハイブリッド証券ファンド限定追加型1405」の運用状況に関するご連絡

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2018年10月2日、弊社が設定・運用しております「T&Dハイブリッド証券ファンド限定追加型1405」(以下、ファンドとすることがあります。)の主要投資対象であるコデイズ・リクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド連動担保付債券(以下、担保付債券とすることがあります。)の発行体(以下、コデイス・セキュリティーズ S.A.といたします。)より、早期償還の可能性がある旨、連絡を受けました。背景に関しては下記の【当該担保付債券の発行体であるコデイス・セキュリティーズ S.A.からの連絡について】をご確認くださいようお願い申し上げます。

なお今後、当該担保付債券が償還することとなりました場合には、ファンドの信託約款の規定に基づき、ファンドの信託終了(繰上償還)の手続きを行う見込みとなります。これまで投資していただきました投資者の皆様には突然のご連絡となり、ご迷惑をおかけしますことをお詫び申し上げます。どうかご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

【当該担保付債券の発行体であるコデイス・セキュリティーズ S.A.からの連絡について】

2018年10月2日、弊社はコデイス・セキュリティーズ S.A.より早期償還の可能性がある旨、連絡を受けました。当該担保付債券は、リクソー・アセット・マネジメント S.A.S の運用するリクソー・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド(以下、外国投資信託とすることがあります。)のパフォーマンスを参照しています。コデイス・セキュリティーズ S.A.から受領した現時点の情報によりますと、当該担保付債券の早期償還の可能性が高まった背景としては、外国投資信託の残高減少等により今後の運用継続が困難となる見通しを外国投資信託の運用会社であるリクソー・アセット・マネジメント S.A.S より示されたことに起因するものであり、具体的には外国投資信託の純資産総額が10億円を明確に下回った場合、運用を終了する方針であるとのこと。

当該担保付債券の早期償還に関する正式なご連絡については、詳細が明らかになり次第、速やかに行います。

【ファンドの信託約款に基づいた信託終了(繰上償還)の手続きについて】

外国投資信託の運用会社がその信託を終了することとなった場合、ファンドの主要投資対象である担保付債券は償還となります。その場合、ファンドは信託約款の規定に基づき信託を終了(繰上償還)し、償還金は償還日翌日以降に支払われます。ファンドの信託終了(繰上償還)が正式に決定した場合、以後解約申込の受付ができなくなる可能性があります。

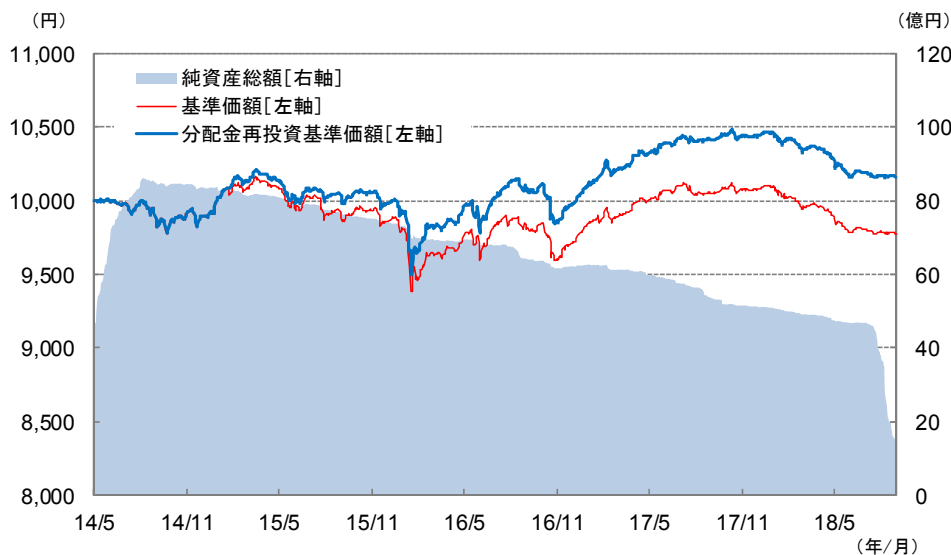
以下はファンドの信託約款からの抜粋です。

(信託契約の解約)

第 47 条

② 委託者は、この投資信託が主要投資対象とする担保付社債が償還することとなる場合は、この信託契約を解約し、信託を終了させます。この場合において、委託者は、あらかじめ、解約しようとする旨を監督官庁に届け出ます。

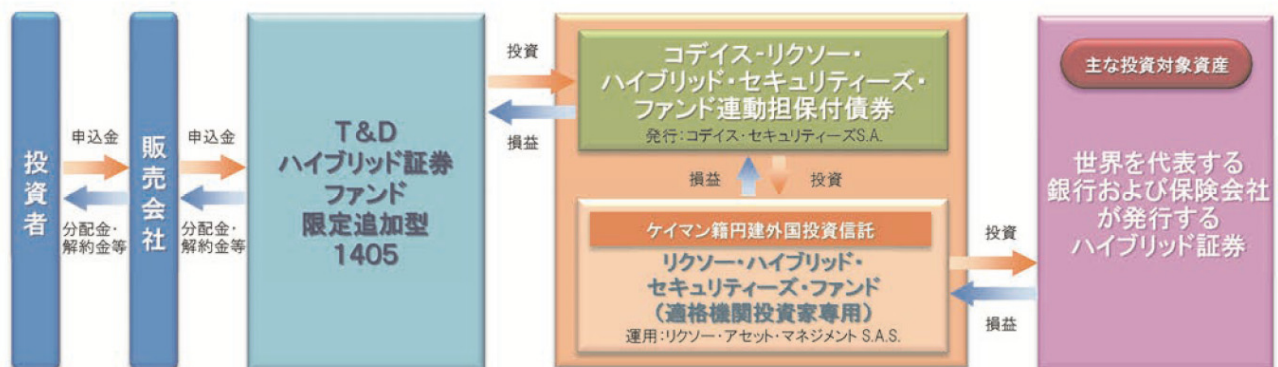
【ファンドの基準価額と純資産総額の推移】



期間:2014年5月30日(設定日)~2018年9月28日(日次)

分配金再投資基準価額は税引前分配金を全額再投資したものとして計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額および分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後です。

【ファンドの仕組み】



以上

当資料はT&Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

「T&Dハイブリッド証券ファンド限定追加型1405」は、信託約款の規定に基づき、購入申込の受付は2014年8月30日をもって終了しております。

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクについて

「ハイブリッド証券の価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「為替変動リスク」

- ・ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に以下の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>換金申込受付日</th> <th>信託財産留保額の率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年8月31日まで</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>2015年9月1日から2016年8月31日</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>2016年9月1日から2017年8月31日</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>2017年9月1日から2018年8月31日</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>2018年9月1日から2019年5月31日</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>2019年6月1日以降</td> <td>0%(なし)</td> </tr> </tbody> </table>	換金申込受付日	信託財産留保額の率	2015年8月31日まで	3.0%	2015年9月1日から2016年8月31日	2.4%	2016年9月1日から2017年8月31日	1.8%	2017年9月1日から2018年8月31日	1.2%	2018年9月1日から2019年5月31日	0.6%	2019年6月1日以降	0%(なし)
	換金申込受付日	信託財産留保額の率													
	2015年8月31日まで	3.0%													
	2015年9月1日から2016年8月31日	2.4%													
	2016年9月1日から2017年8月31日	1.8%													
	2017年9月1日から2018年8月31日	1.2%													
2018年9月1日から2019年5月31日	0.6%														
2019年6月1日以降	0%(なし)														
信託財産留保額は、主な投資対象である担保付債券の実質的な換金手数料 [※] に充当されます。繰上償還が決定した場合でも、担保付債券の実質的な換金手数料 [※] を支払う必要がある場合には上記信託財産留保額が差し引かれます。															
[※] 上記の実質的な換金手数料は、担保付債券の売却時に担保付債券の時価から差し引かれ、担保付債券の売却価格に反映されます。															

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	<p>毎日、ファンドの純資産総額に年0.8964%(税抜0.83%)の率を乗じて得た額とします。ファンドの運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または償還時にファンドから支払われます。</p> <p>その他、担保付債券の発行費用等[※]が年0.80%程度、担保付債券が投資対象とする外国投資信託の信託報酬等[※]が年0.30%程度かかります。</p> <p>実質的な費用:年1.9964%(税抜1.93%)程度</p> <p>ファンドが投資対象とする担保付債券の発行費用等、担保付債券が投資対象とする外国投資信託の信託報酬等を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。</p> <p>また、別途 固定費[※]および担保管理費用等[※]がかかります。</p> <p>[※] これらの費用は、担保付債券の時価に反映されます。</p>
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信託財産にかかる監査費用および当該監査費用にかかる消費税等に相当する金額は、受益者の負担とし、信託財産中から支弁します。 ・ 証券取引に伴う手数料、組入資産の保管に要する費用等は、信託財産から支弁します。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

* 上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。